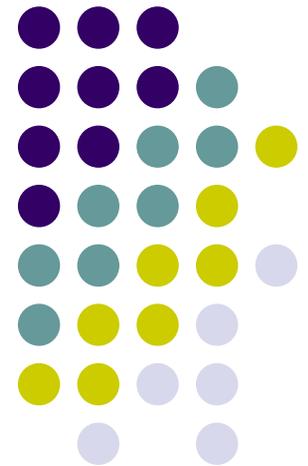
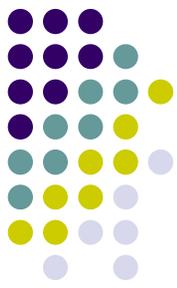


高齢者保健福祉計画策定 のための実態調査

仙台市健康福祉局保険高齢部高齢企画課





調査の概要

- 調査の目的
次期高齢者保健福祉計画（平成24～26年度）策定にあたって高齢者の生活実態・サービスの利用意向等の把握
- 調査対象
仙台市在住の65歳以上の方の中から、5,000人を無作為抽出
- 回収結果
有効回収数 3,567件（有効回収率71.3%）

I. 属性

【年齢】

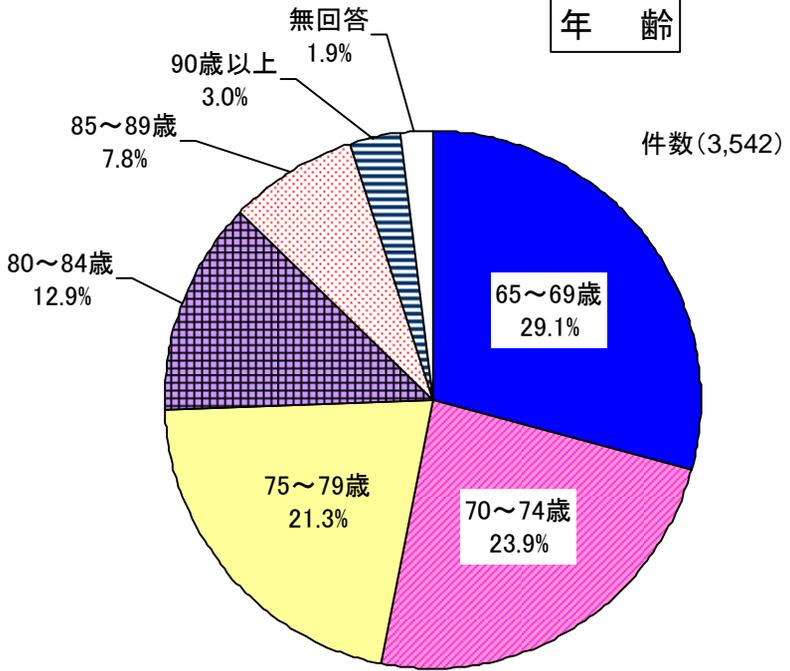
P16



年齢

「65～69歳」が29.1%と最も多く、次に「70～74歳」が23.9%と続いています。

これらを合わせた「前期高齢者」が53.0%を占めました。



『前期高齢者』	『後期高齢者』
53.0%	45.0%

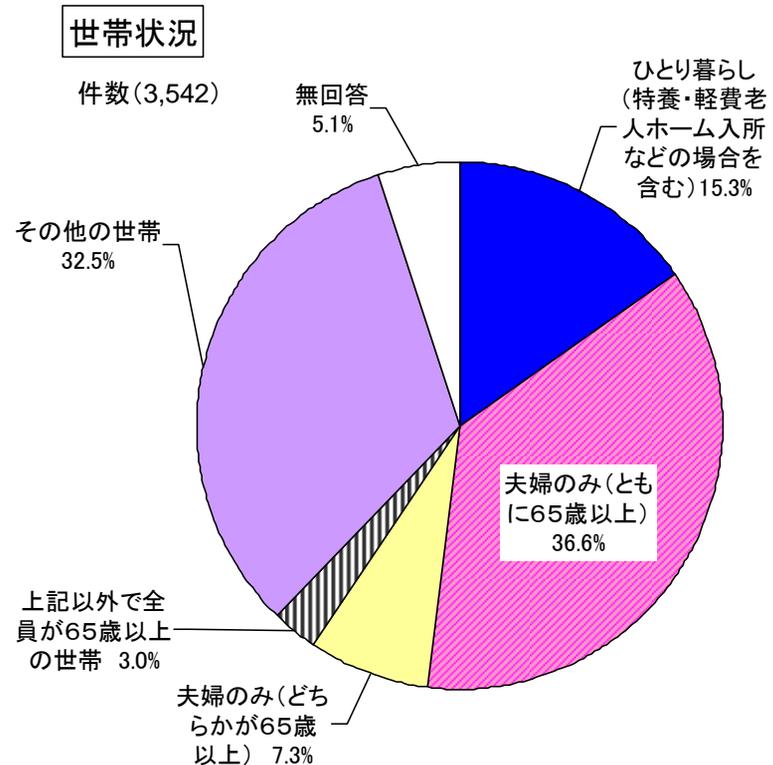


【世帯状況】 ～半数以上が「高齢者のみ」世帯～

- 「ひとり暮らし」 15.3%
- 「夫婦のみ(ともに65歳以上)」 36.6%
- 「上記以外で全員が65歳以上」 3.0%

高齢
世帯

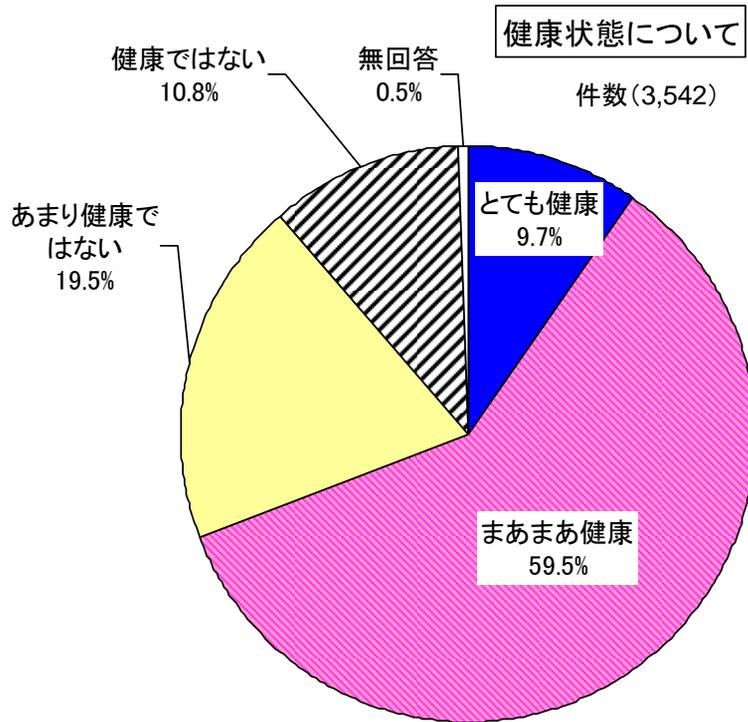
54.9%





【健康状態】

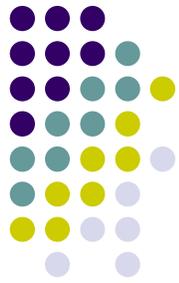
～約7割が「健康」で



69.2%
自立した生活を送っています

男女別でも大差なし(P69)
男性(70.3%), 女性(68.5%)

- 「とても健康」 9.7%
- 「まあまあ健康」 59.5%

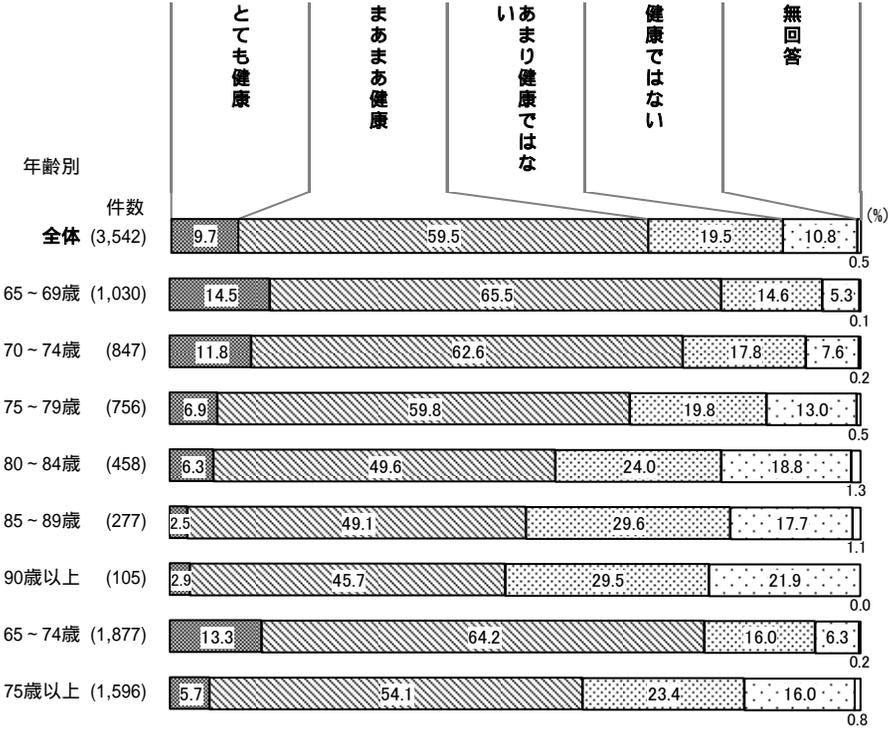


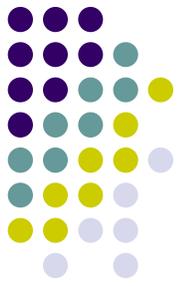
ここで、健康状態を 年齢別に見てみると…

「とても健康」
「まあまあ健康」
と答えた方は、

おおむね年齢が低くなるに
したがって多くなっており、
65～69歳では8割を占め
ているものが、80歳以上
では5割台以下になって
います。

ご本人の健康状態<年齢とのクロス集計>



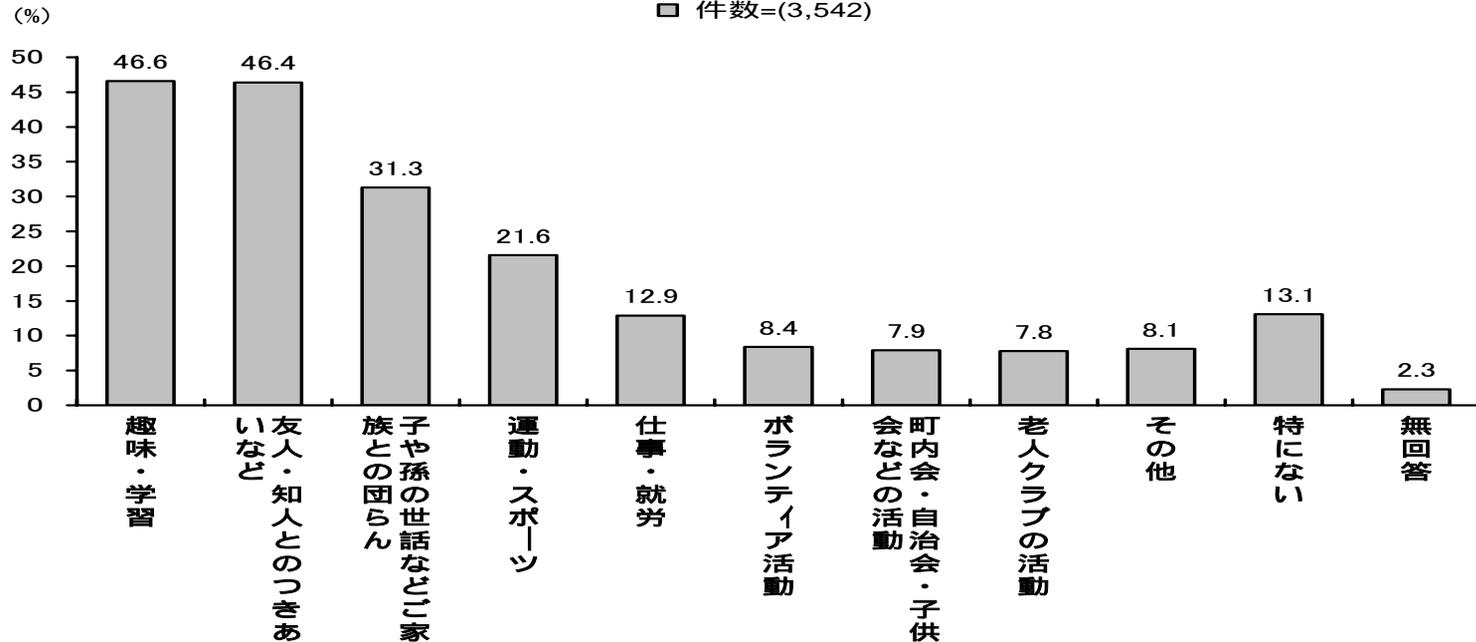


【日常生活】～“楽しさや生きがい”は 趣味や人とのつながり～

“楽しさや生きがいを感じること”は、半数近くの方が「趣味・学習」「友人・知人とのつきあいなど」を挙げており、次に「子や孫の世話など家族との団らん」が続いています。なお、約1割の方は「特にない」と回答しています。

楽しさや生きがいを感じること

□ 件数=(3,542)



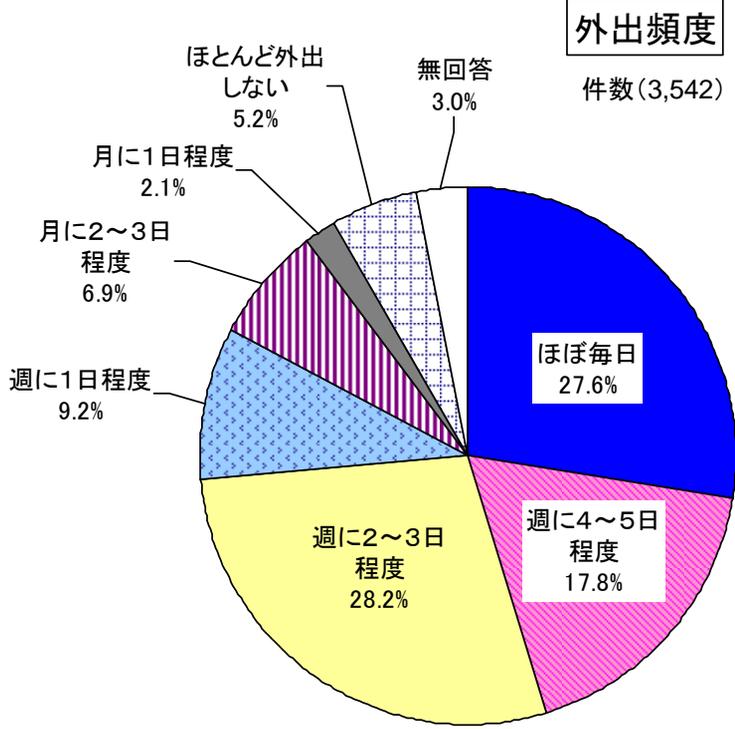


【外出頻度】 ～積極的な外出傾向～

週あたりの外出日数	
①「2～3日」	<u>28.2%</u>
②「ほぼ毎日」	<u>27.6%</u>
③「4～5日」	<u>17.8%</u>

約5割

週に4日以上
外出しています



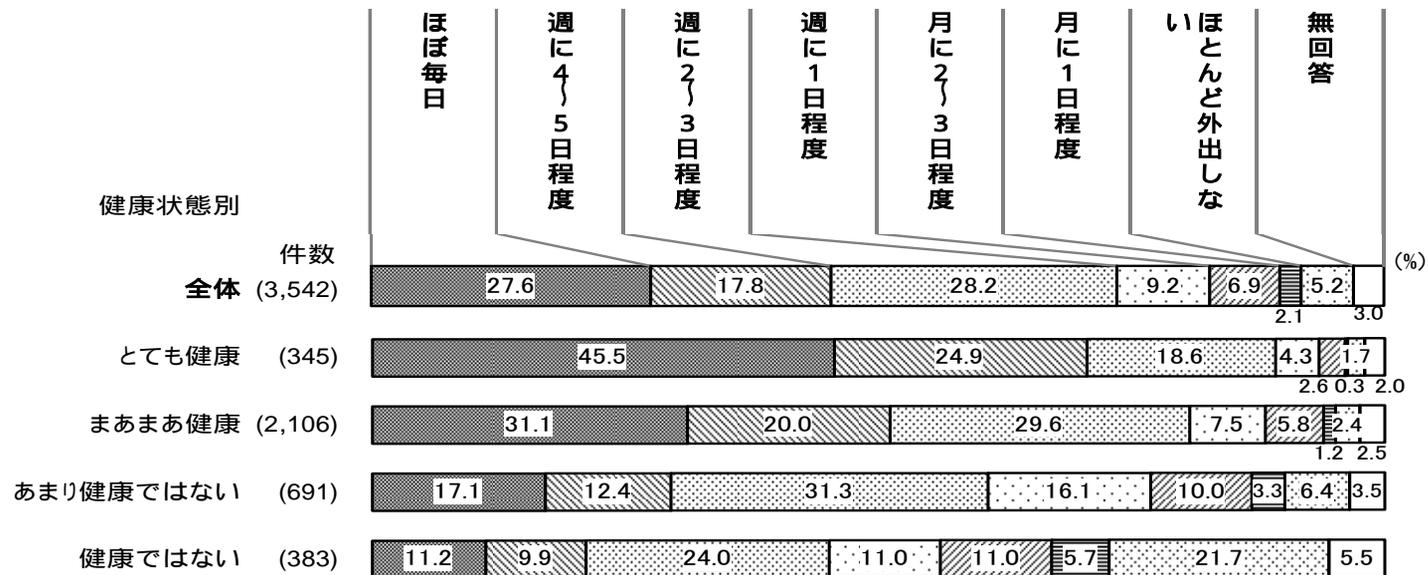


ここで、外出頻度の 健康状態による違い

を見てみると...

健康状態が良くなるにつれて、外出の頻度は高くなり、「とても健康」と回答した方の、45.5%は「ほぼ毎日」外出する、と答えています。

外出頻度<ご本人の健康状態とのクロス集計>





Ⅱ. 設問と傾向(新規項目を中心に)

(1)【買い物について】

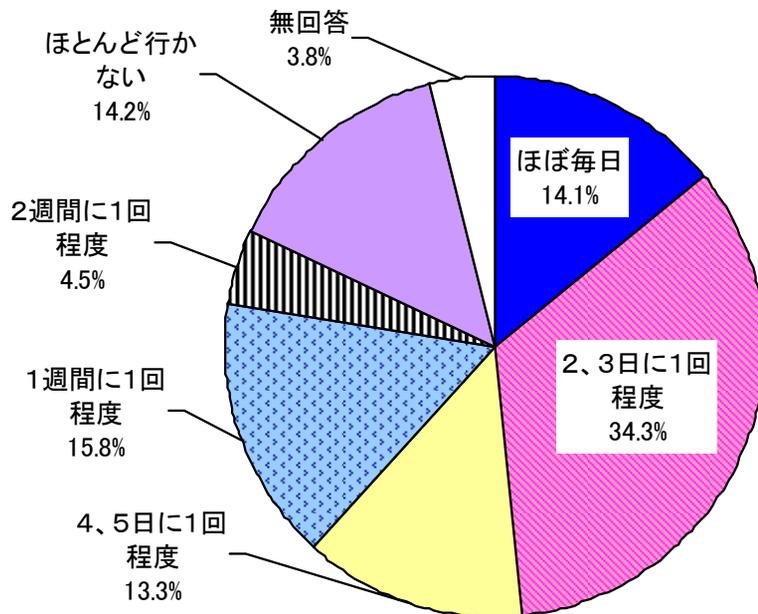
▼ 頻 度 ▼

「2,3日に1回程度」(34.3%)が最も多く、次に「1週間に1回程度」(15.8%)が続いています。

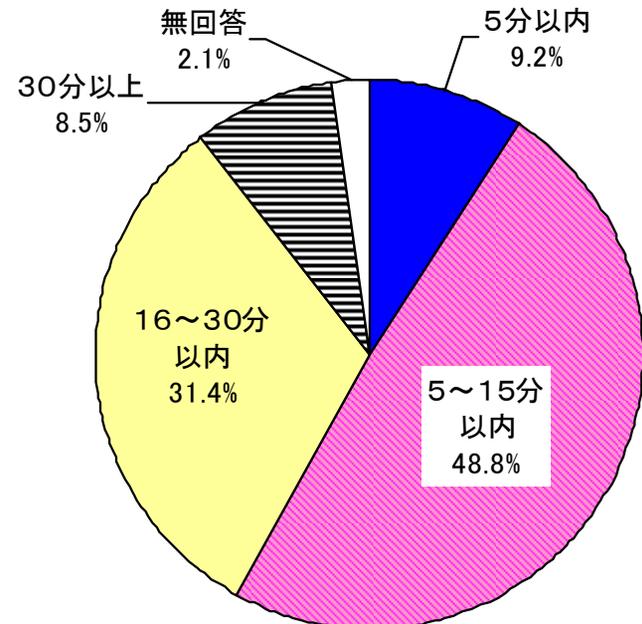
▼ 店までの所要時間(片道) ▼

「5~15分」(48.8%)が最も多く、次に「16~30分」(31.4%)が続いています。

買い物に行く頻度 件数(3,542)



普段買い物をする店までの所要時間 件数(2,906)



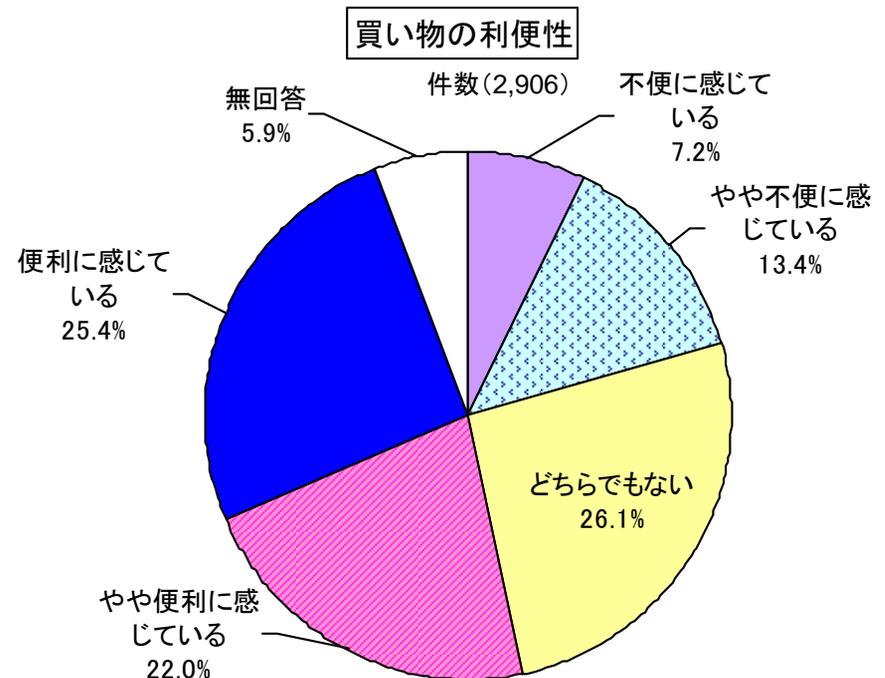


普段の買い物の利便性は ～約5割の方は「便利」と感じています～

「便利」「やや便利」
47.4%

「やや不便」「不便」
20.6%

どちらでもない
26.1%





買い物の不便さを感じている方が 利用したいサービスは…

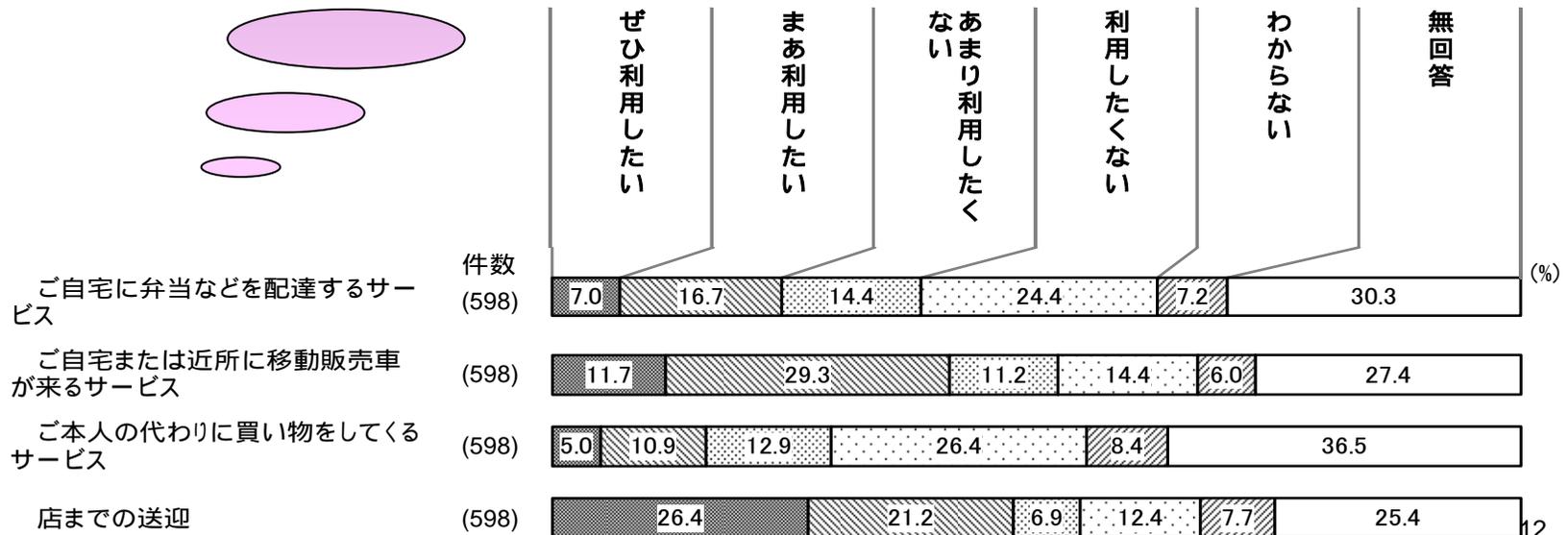
「是非利用したい」
「まあ利用したい」

1位「店までの送迎」(47.6%)

2位「自宅や近所に移動販売車がかかるサービス(41.0%)

👉 買い物は“自分で選択できること”が重視されています。

買い物の不便さを解消するために利用したいサービス



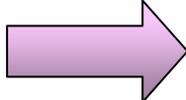


(2)【住宅について】

お住まいの住宅の困りごとは

- ①「草むしりや植木など庭や家周りの手入れ」(32.1%)
- ②「固定資産税が高い」(30.0%)
- ③「老朽化」(23.0%)
- ④「バリアフリーになっていない」(16.5%)、
- ⑤「掃除や片付けが大変」(16.1%) ほか(複数回答)

健康状態が悪くなるに
したがって



「バリアフリーになっていない」
「掃除や片付けが大変」
「家が狭い」
の割合が増えています

住居に関して困っていること<ご本人の健康状態とのクロス集計>

	調査数	草むしりや植木など庭	固定資産税が高い	老朽化	バリアフリーになっていない	掃除や片付けが大変	家が狭い	騒音	住宅ローンが大変	家賃が高い	その他	特にない	無回答
全体	3,542 100.0	1,136 32.1	1,062 30.0	814 23.0	586 16.5	572 16.1	188 5.3	188 5.3	174 4.9	148 4.2	107 3.0	1,010 28.5	82 2.3
とても健康	345 100.0	67 19.4	84 24.3	61 17.7	34 9.9	26 7.5	11 3.2	12 3.5	14 4.1	11 3.2	3 0.9	158 45.8	7 2.0
まあまあ健康	2,106 100.0	672 31.9	656 31.1	469 22.3	328 15.6	282 13.4	90 4.3	98 4.7	102 4.8	79 3.8	56 2.7	623 29.6	40 1.9
あまり健康ではない	691 100.0	253 36.6	203 29.4	188 27.2	132 19.1	174 25.2	53 7.7	56 8.1	39 5.6	40 5.8	25 3.6	153 22.1	18 2.6
健康ではない	383 100.0	136 35.5	111 29.0	93 24.3	90 23.5	88 23.0	33 8.6	22 5.7	16 4.2	17 4.4	23 6.0	73 19.1	17 4.4

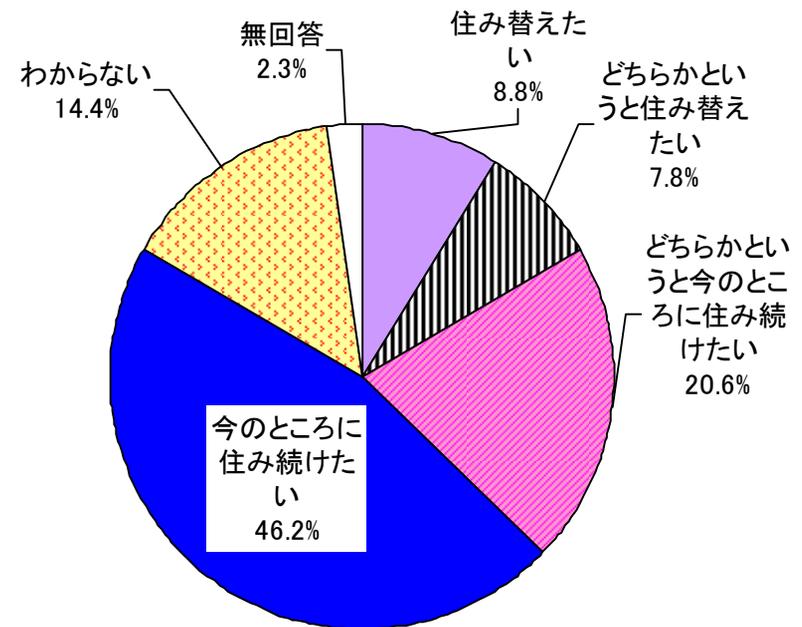


介護が必要になっても...

- ・「今のところに住み続けたい」 46.2%
- ・「どちらかというとも今のところに住み続けたい」 20.6%

介護が必要になった場合の住み替え希望

件数(3,542)



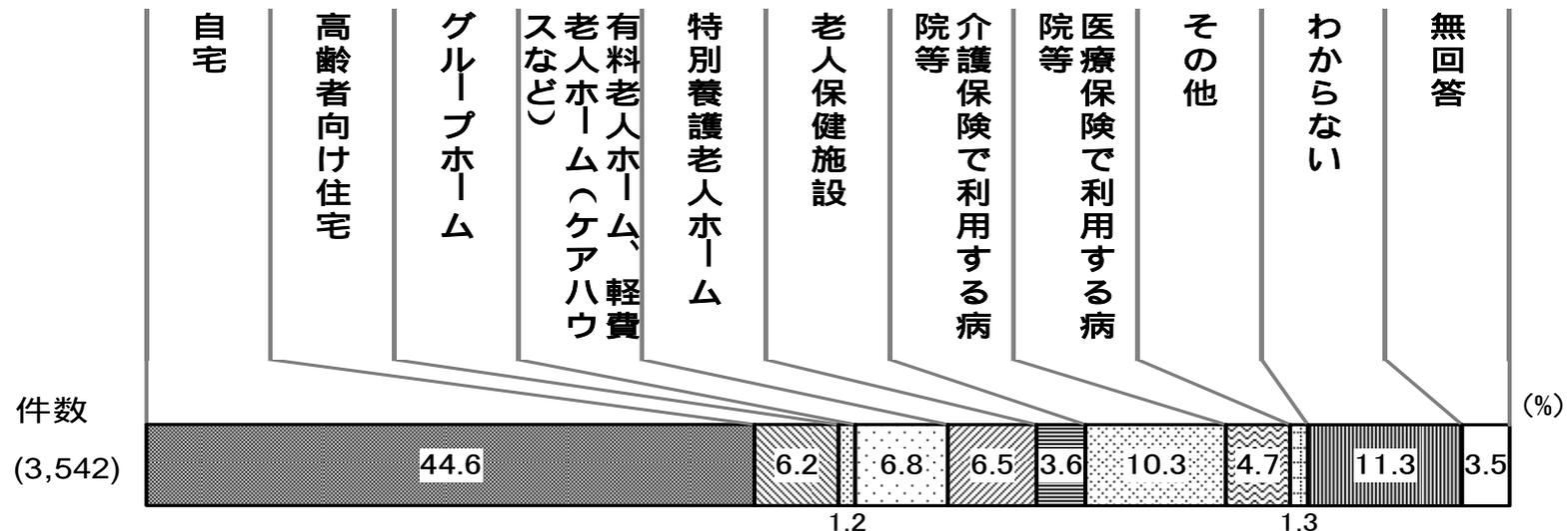
66.8%の方が
居住継続を
希望しています

介護が必要になった場合に 介護を受けたい場所は...

～約5割の方が「自宅」を選んでいきます～

「介護保険で利用する病院等」が約1割, 以下「有料・軽費老人ホーム」
「特別養護老人ホーム」「高齢者向け住宅」と続いています。

要介護になった場合に介護を受けたい場所





ここで、「介護を受けたい場所」の 男女別，年齢別の違いを見てみると...

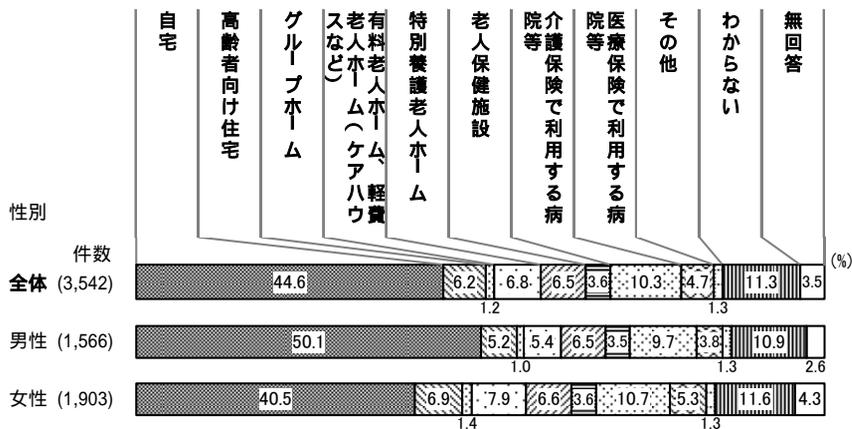
男性ほど

概ね年齢が高くなるほど

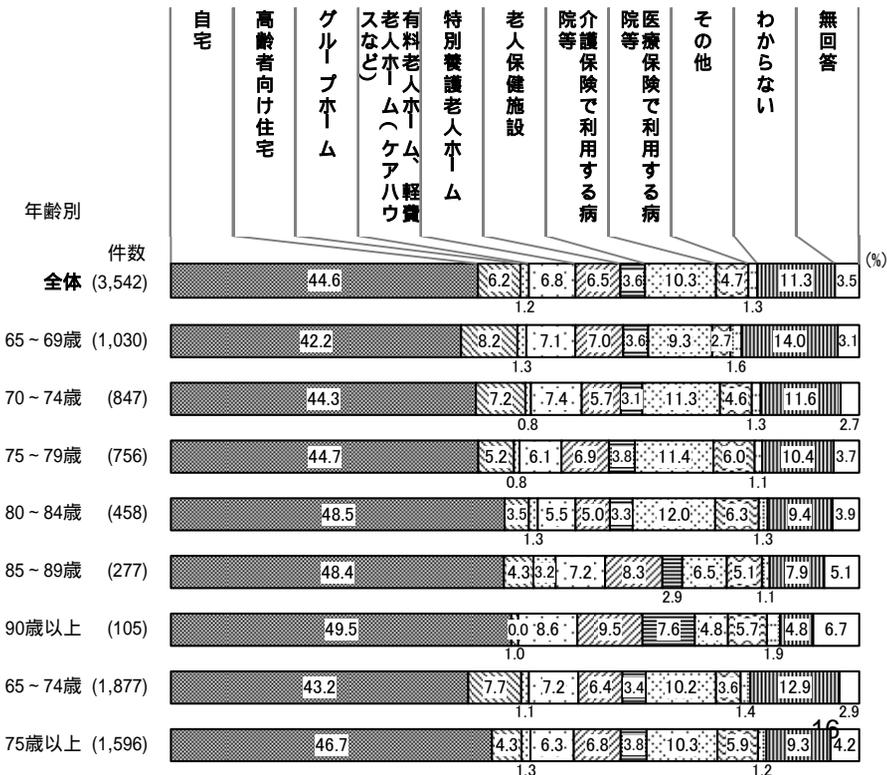
男女別

年齢別

介護を受けたい場所<男女別とのクロス集計>



介護を受けたい場所<年齢別とのクロス集計>



「自宅」を選んでいる方が
多くなっています



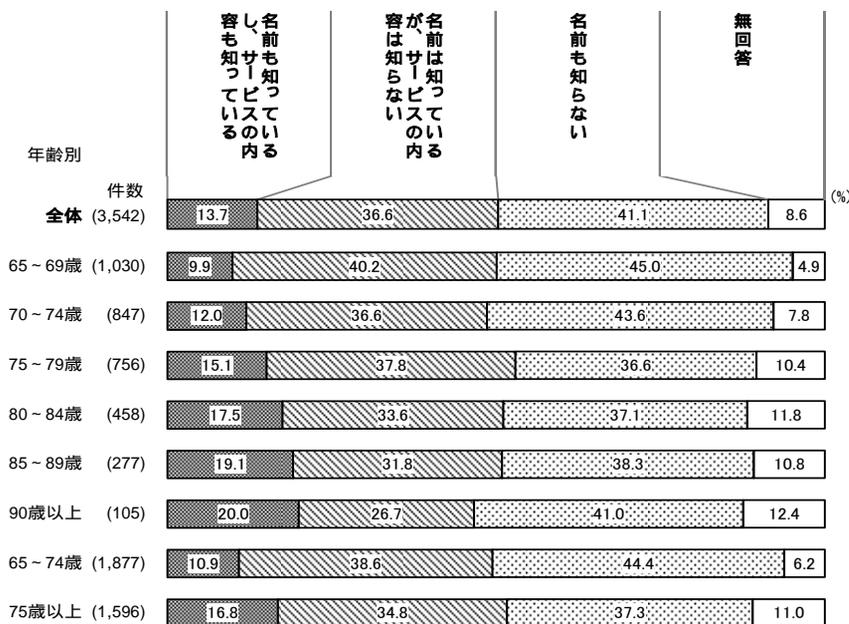
(3)【地域包括支援センターについて】

～認知度・利用経験は年齢が高くなるほど上昇～

認知度

「名前も知っているし、
サービスの内容も知っている」
85歳以上 > 約2割, 65～74歳 > 約1割

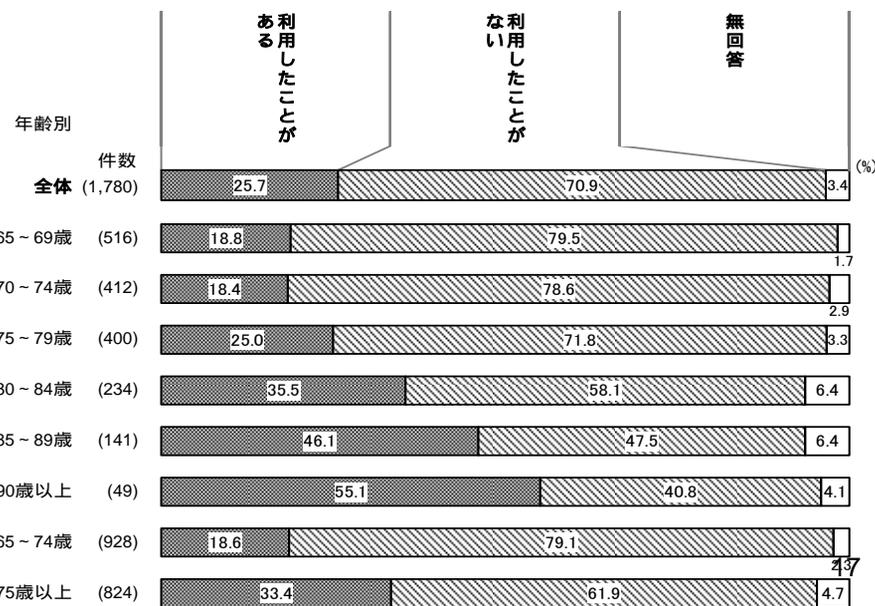
地域包括支援センターの認知度について<年齢別とのクロス集計>



利用経験

「利用したことがある」
85歳以上 > 約5割, 65～74歳 > 約2割

地域包括支援センターの利用経験について<年齢別とのクロス集計>





一方で、地域包括支援センターに 今後期待することについては...

全体では「介護や保健福祉サービス、介護予防についての相談受付」(47.0%)が最も多く、次に「地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実」(37.0%)が続いていますが、年齢が高くなるにしたがってその割合は低くなっています。

地域包括支援センターに今後期待することについて<年齢別とのクロス集計>

	調査数	介護や保健福祉サービス、介護予防について相談受付	地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実	地域の医療機関や福祉機関などとのネットワークの充実	認知症の普及啓発や認知症地域づくりの推進	運動予防の普及啓発や運動教室の実施	高齢者虐待への対応など高齢者の権利を守る	高齢者虐待への対応など高齢者の権利を守る	高齢者だけでなく、障害者や児童などに関する相談受付	高齢者だけでなく、障害者や児童などに関する相談受付	その他	特になし	無回答
全体	3,542 100.0	1,664 47.0	1,310 37.0	1,272 35.9	615 17.4	472 13.3	406 11.5	382 10.8	136 3.8	550 15.5	276 7.8		
65～69歳	1,030 100.0	514 49.9	427 41.5	393 38.2	200 19.4	151 14.7	119 11.6	121 11.7	46 4.5	149 14.5	54 5.2		
70～74歳	847 100.0	419 49.5	342 40.4	309 36.5	153 18.1	135 15.9	86 10.2	105 12.4	33 3.9	123 14.5	58 6.8		
75～79歳	756 100.0	353 46.7	264 34.9	282 37.3	123 16.3	94 12.4	94 12.4	81 10.7	23 3.0	105 13.9	70 9.3		
80～84歳	458 100.0	198 43.2	142 31.0	150 32.8	80 17.5	63 13.8	54 11.8	32 7.0	15 3.3	78 17.0	47 10.3		
85～89歳	277 100.0	118 42.6	82 29.6	85 30.7	33 11.9	14 5.1	33 11.9	25 9.0	12 4.3	58 20.9	27 9.7		
90歳以上	105 100.0	31 29.5	27 25.7	39 37.1	14 13.3	10 9.5	11 10.5	14 13.3	5 4.8	24 22.9	10 9.5		
65～74歳	1,877 100.0	933 49.7	769 41.0	702 37.4	353 18.8	286 15.2	205 10.9	226 12.0	79 4.2	272 14.5	112 6.0		
75歳以上	1,596 100.0	700 43.9	515 32.3	556 34.8	250 15.7	181 11.3	192 12.0	152 9.5	55 3.4	265 16.6	154 9.6		



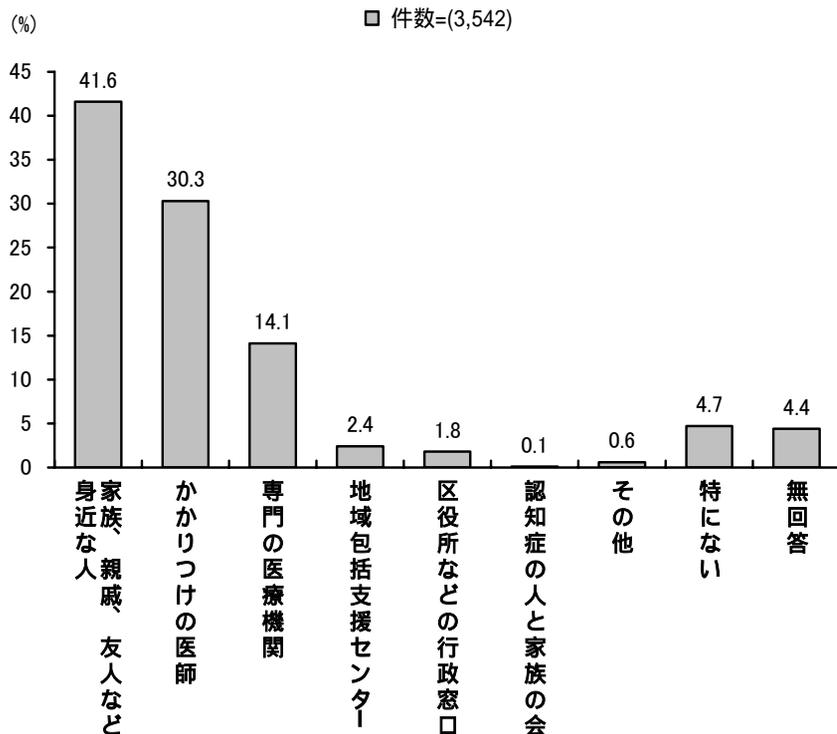
(4)【認知症対策について】

～相談先は「身近な人」のほか、医療関係～

Q. 認知症や物忘れが心配なときに、
まずどちらに相談しますか？

- ①「家族、親戚、友人など身近な人」
(41.6%)
- ②「かかりつけの医師」(30.3%)
- ③「専門の医療機関」(14.1%)
- ④「地域包括支援センター」(2.4%)
ほか(複数回答)

認知症・物忘れが心配なときの相談先





認知症対策について

今後、仙台市が期待されることは…

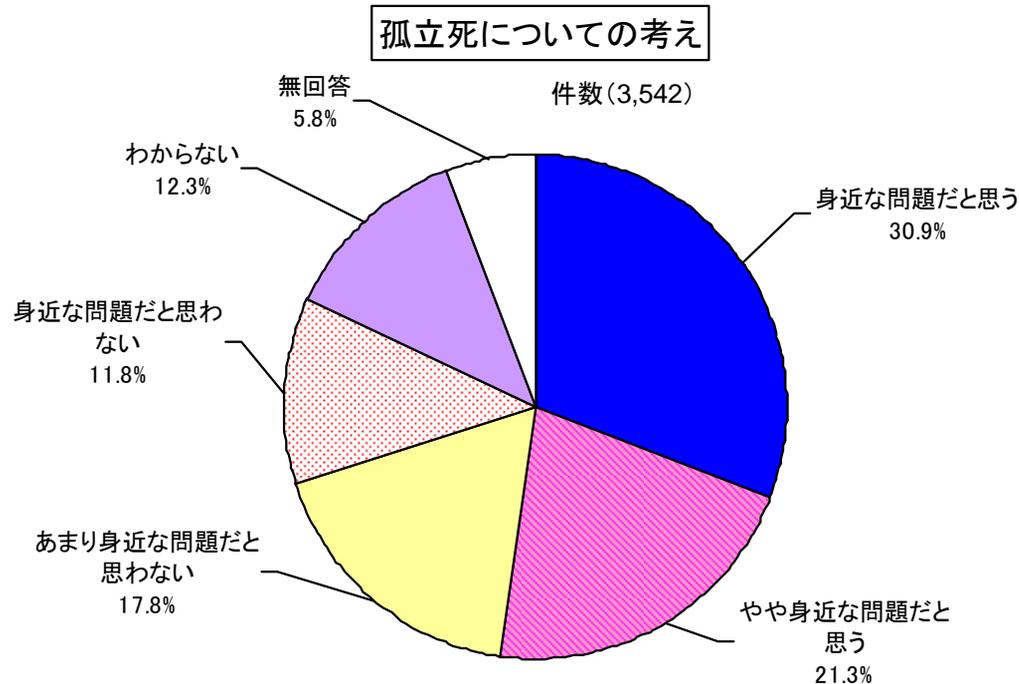
- 専門の医療機関や相談窓口の充実(55.8%)
- 認知症の早期発見のための健診など(55.4%)
- 認知症に関する正しい知識の普及啓発(45.8%)
- 在宅の認知症の方の日常生活の支援(37.8%)
- 認知症に関する理解者・サポーターの養成(27.2%)
- 認知症予防に関する研究など(26.8%)
- 介護職員が行う認知症ケアの質の向上(24.1%)
- 認知症の方を介護する家族のための交流会などの充実(17.6%)
- 若年(65歳未満)の認知症の方への支援(10.3%)

ほか(複数回答)



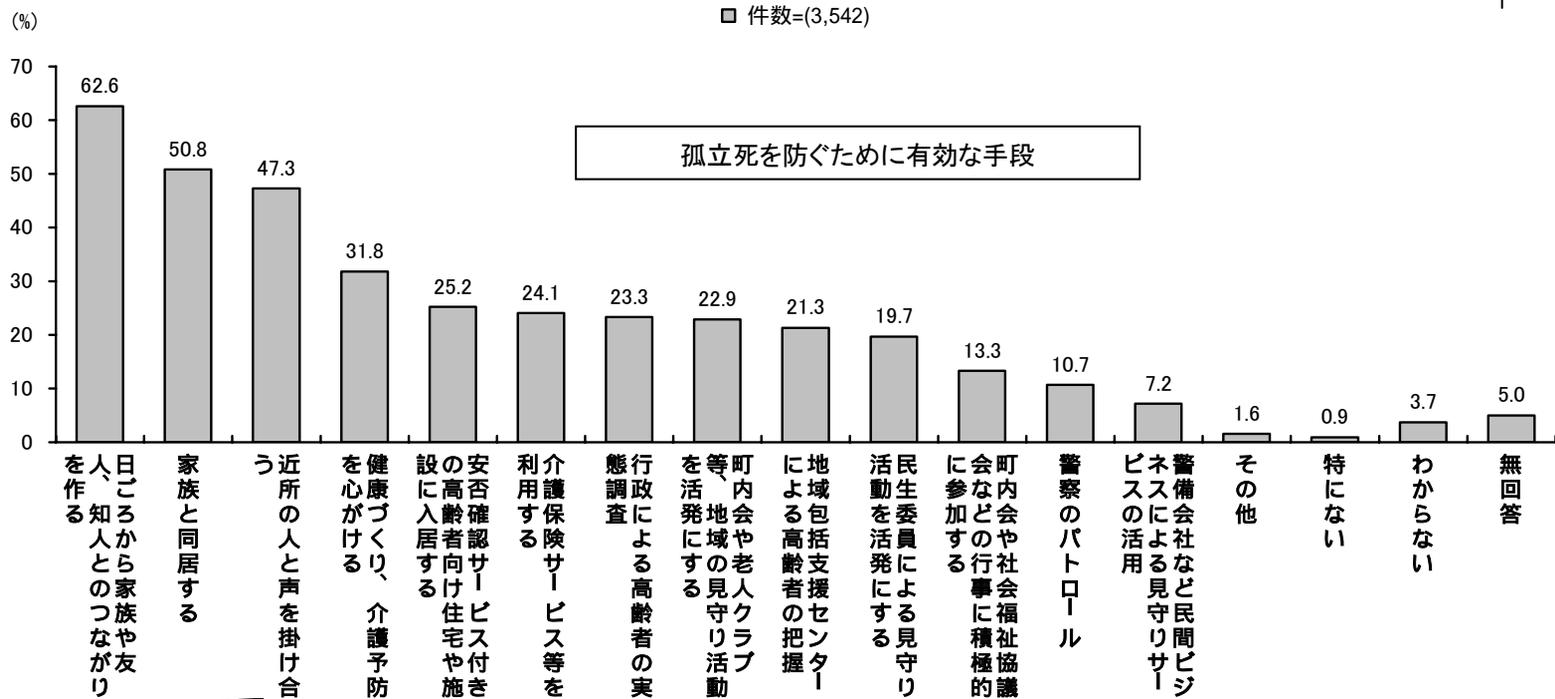
(5)【孤立死について】

孤立死は「身近な問題」と考えている
高齢者が約5割を占めています





孤立死防止のために有効だと思うことは…



「人とのつながりづくり」「家族と同居する」「近所の人と声を掛け合う」が約5割を占めており、身近な人とのつながりが重視されています。



(6) 仙台市への意見・要望について (自由記述 976件)

- 経済的負担の軽減 128件(13.1%)
- 高齢者施策全般 125件(12.8%)
- 介護保険制度について 115件(11.8%)
- 施設サービスの充実 79件(8.1%)
- 相談, 手続き体制 77件(7.9%)

ほか